

# 第20回奈良県キャンポリー 実施報告書



会期 令和7年8月11日(月)～8月15日(金)

会場 はやまの森野営場

## もくじ

- 森に感謝・・・・・・・・・・・・・・・・・・連盟長 辻村 泰範
- キャンポリーを振り返って・・・・・・・・・・理事長 吉田 甚造
- 大会概要（基本実施要項より）
- 大会参加人数
- プログラムと食事のメニュー
  - a. プログラムの一覧
  - b. プログラムの抽選結果
  - c. 食事のメニュー
- 参加隊報告
  - a. わかくさ1隊
  - b. きたやまと1隊
  - c. きたやまと2隊
  - d. まほろば1隊
  - e. 葛城1隊
  - f. 葛城2隊
  - g. VS奉仕隊
- キャンポリーの活動風景
- 県コミッショナー総括・・・・・・・・・・・・・・・・黒田 達也
- 編集後記

## 「森に感謝」

連盟長 辻村泰範

近頃のアウトドアブームでテントを始めスマートで便利なキャンプ道具などが比較的安価に手に入るようになった。誰にも野外活動が身近になった。



一方で、スカウトのキャンプは敢えて便利さに抗うところがある。人と自然、敢えて言えば森での原始的な生活に憧れるのだ。そこでは一人の人間の持っている能力や知恵、工夫が試されるからであり、仲間と共に課題を解決し、喜びや楽しみを経験することができるからではないだろうか。

はやまの森が我々にこの贅沢な環境を与えてくれることを感謝しようではないか。キャンポリーは我々を試してくれる。この数日間の中に、時には容赦なく、時には暖かく、そして時には厳かに自然が私たちを包んでくれた。

スカウティングの魅力。リーダーにとっても、それを確かめるいい機会になったのではないだろうか。

ありがとう「はやまの森」！

## キャンポリーを振り返って

理事長 吉田 甚造

第 20 回奈良県キャンポリーが 8 月 11 日  
～15 日までの（4 泊 5 日）で開催され、  
大きな問題もなく無事閉会できましたの  
も、関係各位のあたたかいご支援と、運営  
スタッフ皆様方の献身的なるご支援があ  
ったからだと思います。



本当にありがとうございました。

参加隊員の中には、長期キャンプになれていない隊員もおり、  
体調をくずした隊員も少しおりましたが、今後のスカウト活動  
やキャンプにいかしてスカウト活動を続けていただきたいと思  
います、そして期間中にケガをした隊員も少なく良かったと思  
っております。

プログラムもよく、隊員たちも楽しんで参加していい体験を  
したと思います。次回もよろしく願いいたします。

今回ご奉仕いただいた団委員・リーダーの方々本当にありが  
とうございました、今後ともスカウト活動にご理解いただき、奈  
良県連盟にご協力をよろしくお願いいたします。

弥栄

## ■ 大会概要 ■

1 名称 第20回奈良県キャンポリー(略称: 20NC)

2 目的

「スカウト技能を高め、長期の野営を快適に楽しむ」

～19NSJ)を目指し、メンバー相互の建設的な協力関係を築き班の活動の楽しさを体感するとともに自己のスキルアップにつなげる～

3 テーマ 「All for One. One for All.」

4 会期 令和7年(2025年)8月11日(月祝)～8月15日(金)

5 日程表

日数	日程	主な行事	午前	午後	夜間
前々日	8/9(土)	大会スタッフ入場・準備	大会スタッフ入場・設営・準備作業		
前日	8/10(日)	大会スタッフ入場・準備	大会スタッフ入場・設営・準備作業		
第1日	8/11(月)	参加隊入場・設営・開会式	準備作業	入場設営	開会式
第2日	8/12(火)	プログラム	選択プロ	選択プロ	自主プロ
第3日	8/13(水)	プログラム	選択プロ	選択プロ	自主プロ
第4日	8/14(木)	大集会・閉会式	選択プロ	大集会	閉会式
第5日	8/15(金)	撤営・参加者退場	撤営	参加者退場	
翌日	8/16(土)	撤営・大会スタッフ退場			
翌々日	8/17(日)	野営場一般利用者受入開始			

6 会場

奈良県連盟「はやまの森野営場」 奈良市都祁吐山町 3370 番地

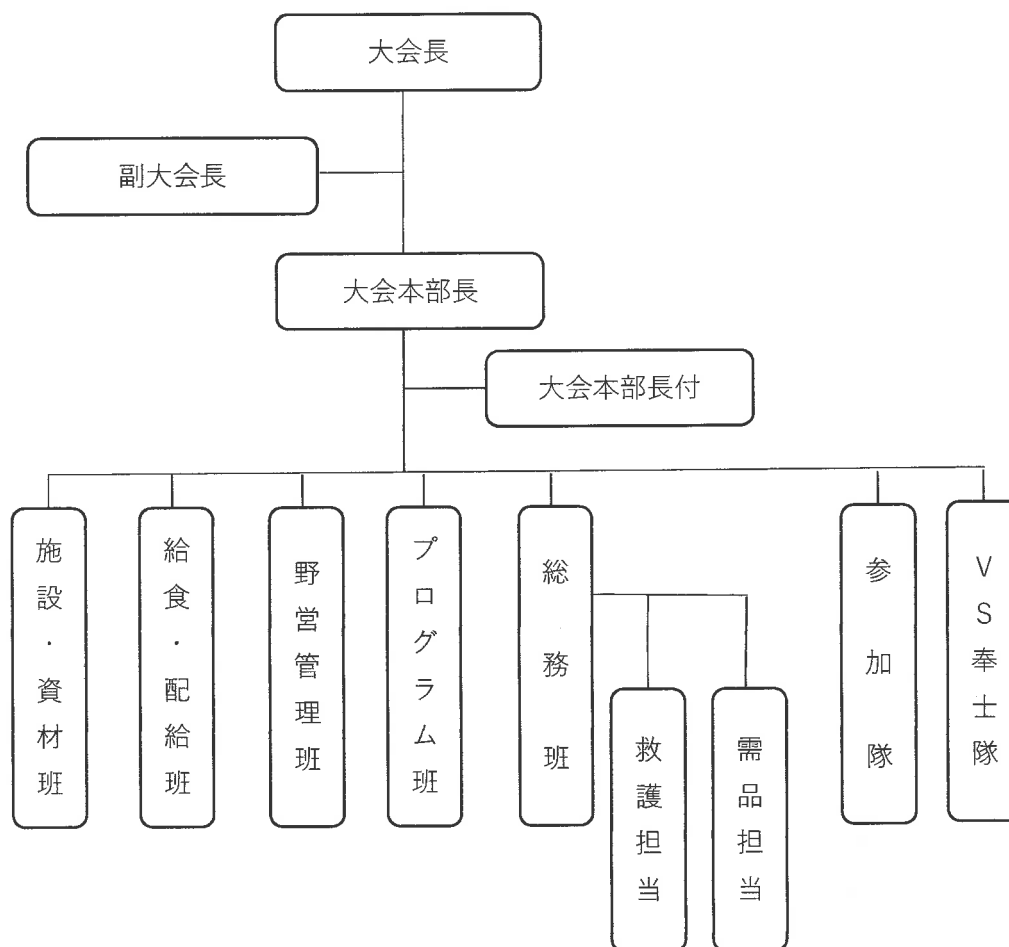
奈良介護福祉中央学院(旧はやま小学校)の一部

奈良県野外活動センターの一部

## 7 基本日課

起床	6:00	夕食	18:00
朝食	7:00	国旗降納	18:30
国旗掲揚	8:30	夜間の活動	19:30~21:00
午前の活動	9:00~11:30	就寝	21:00
昼食・休憩	11:30~14:00	消灯	22:00
午後の活動	14:00~16:30		

## 8 大会組織図



## ■ 参加人数 ■

	わかくさ	きたやまと	まほろば	葛城	合計
参加隊スカウト	28	51	27	48	154
参加隊指導者	21	23	11	12	67
VS 奉仕スカウト	9	10	6	7	32
VS 奉仕指導者	0	0	0	5	5
大会スタッフ	19	34	15	42	110
見学者	8	7	9	8	32
合計	85	125	68	122	400



第20回奈良県キャンポリー プログラム一覧表

分類	プログラム名	主担当	場所 (予定)	8月11日		8月12日		8月13日		8月14日		事前予約	有料	受入上限 班数	概要・備考	
				月		火		水		木						
				午前	午後	夜	午前	午後	夜	午前	午後					夜
全体行事	開会式	八頭司	中央広場													
	大集会	八頭司	中央広場													
	宗教儀礼	八頭司	中央広場													キリスト教(祭壇4・川内) 仏教(講堂1・塚本) 神道( 玉置敷(祭壇6・佐藤)
	閉会式	八頭司	中央広場													
プログラム	おにぎりパーティー	智原	中央広場													
	クイックリースロー	智原	中央広場													
	ストレッチャーレース	智原	中央広場													
	フラッグコミュニケーション	智原	中央広場													
	ライティングファイヤー	智原	中央広場													
	レイジングフラッグ	智原	中央広場													
	レスキューroof	智原	中央広場													
選択プログラム	①	パリスタシューティング	寺岡 RS	旧吐山小学校グラウンド			★	★	★	★	★	●	●	2	綿材を組み合わせて、パリスタ(巨大ボウガン)を作成し、標的に当ててのぞき狙撃	
	①	投石機で水玉キャッチ	谷口 RS	旧吐山小学校グラウンド			★	★	★	★	★	●	●	2	投石機を作って水風船をとばして班の仲間がキャッチ!!	
	①	ドローンオペレーション	野元	旧吐山小学校体育館			★	★	★	★	★	●	●	2	ドローンに関する基本的な知識の学習と、操縦を体験する	
	②	ドキドキモンキー	前田	オクタゴン			★	★	★	★	★	●	●	2	モンキーブリッジを作って谷を渡る	
	②	WOODJOB (ウッジョブ)	森本・林	オクタゴン			★	★				●	●	2	木こりになって、実際に木を切って薪を作る	
	③	俺のアルスト		Aサイト			★	★	★	★	★	●	●	2	空き缶を使ってアルコールストーブを作ります。	
		俺の燻製	山下	Aサイト			★	★	★	★	★	●	●	2	色々なモノを燻製してみよう!	
		ソーセージダンパ研究会	田村(瞳)	Aサイト			★	★	★	★	★	●	●	2	かまどで、ソーセージをフィールドなダンパを作って食べよう!!	
	③	俺のハンモック	泉谷	Aサイト			★	★	★	★	★	●	●	2	ハンモックを自作して、森の中で使ってみる	
	④	竜王湖探索ハイキング (Hitoo!)	佐藤	場外									●	●	2	渡された地図と手がかりを頼りに、神秘的竜王湖にたどりつき、入浴券をゲット。
		竜王湖探索ハイキング (HiMe!)	佐藤	場外									●	●	3	渡された地図と手がかりを頼りに、神秘的竜王湖にたどりつき、入浴券をゲット。
		巨人像探索ハイク (Hitoo!)	佐藤	場外									●	●	2	渡された地図と手がかりを頼りに、巨人像を見つけ出し、入浴券をゲット。
		巨人像探索ハイク (HiMe!)	佐藤	場外									●	●	3	渡された地図と手がかりを頼りに、巨人像を見つけ出し、入浴券をゲット。
		三角点探索登山	佐藤	場外									●	●	3	渡された地図をみながら、指定された三角点にたどりつき、入浴券をゲット。
はやまくエスト		佐藤	場外									●	●	5	座標コードを解析し、吐山の様々な場所を訪れるスコアOL。	
⑤	無線でスパイ大作戦	山本・畑	中央広場場内			★	★	★	★	★	●	●	3	無線を使ったゲーム&アマチュア無線を知ろう		
	無線でとっとこハム太郎	山本・畑	中央広場場内												アマチュア無線の公開運用とライセンス取得のための案内	
	インスタでバズれ!!	大垣・髙田	中央広場												おもしろ動画を撮って、インスタにアップ目指せ!インフルエンサー!!	
	おもしろ写真コンテスト	大垣・髙田	中央広場												大会期間中に撮影したおもしろ写真でコンテストの入賞を目指せ!	

←→ 期間中はいつでも開催

★ 半日プログラム

■ 一日プログラムの開催



食事メニュー

■参加隊 (はやまの森)

		8/11	8/12	8/13	8/14	8/15
朝	メニュー		ご飯	ご飯	ご飯	ご飯
			納豆	納豆	納豆	納豆
			みそ汁 (じゃが芋)	みそ汁 (わかめ)	みそ汁 (じゃが芋)	みそ汁 (わかめ)
			ベーコン	ウインナー	ベーコン	ウインナー
			卵料理	卵料理	卵料理	卵料理
			バナナ	ヨーグルト	バナナ	ヨーグルト
	食材		米	米	米	米
			カップ納豆	カップ納豆	カップ納豆	カップ納豆
			味噌	味噌	味噌	味噌
			じゃが芋	ふえるわかめ	じゃが芋	ふえるわかめ
			ベーコン	ウインナー	ベーコン	ウインナー
			卵	卵	卵	卵
			バナナ	ヨーグルト	バナナ	ヨーグルト
	昼	メニュー		ハンバーグ弁当	鳥そぼろ弁当	ミートボール弁当
			梅干し	梅干し	梅干し	梅干し
			ふりかけ	のり佃煮	ふりかけ	のり佃煮
食材			米	米	米	米
			レトルトハンバーグ	鳥そぼろ	レトルトミートボール	鮭フレーク
			梅干し (小)	梅干し (小)	梅干し (小)	梅干し (小)
			ふりかけ (小袋)	のり佃煮 (小袋)	ふりかけ (小袋)	のり佃煮 (小袋)
夜		メニュー	すき焼き	鳥の照り焼き	カレーライス	プルコギ
	ご飯		ご飯		ご飯	
			サラダ	サラダ	サラダ	
	みそ汁 (わかめ)		みそ汁 (わかめ)		中華スープ	
	ゼリー		プリン	ゼリー	プリン	
	食材	米	米	米	米	
		豚肉	鶏もも肉	豚肉	牛こま切れ肉	
		玉ねぎ	キャベツ	玉ねぎ	玉ねぎ	
		白菜	レタス	人参	人参	
		糸こんにゃく	味噌	じゃが芋	ピーマン	
		ふ	玉ねぎ	カレールー	もやし	
		味噌	プリン	キャベツ	プリン	
		ふえるわかめ		レタス	プルコギのたれ	
		ゼリー		ゼリー	鶏がらスープの素	

※上記は仕入等の都合で変更となる場合があります。

# 第20回奈良県キャンポリー参加隊報告書

報告者：	【地区名】	わかくさ 隊	【氏名】	井上稜太
------	-------	--------	------	------

## 隊編成について

隊指導者数	【人数】		【詳細人数】	
	隊長	1 名	(全日参加： 1 名 / 部分参加： 0 名)	
	副長	10 名	(全日参加： 4 名 / 部分参加： 8 名)	
	副長補	7 名	(全日参加： 2 名 / 部分参加： 5 名)	

隊指導者の役務 ※行が足りない場合は追加してください	【氏名】	【所属団】	【業務分担他】	
	隊長	井上稜太	奈良18団	
	副長	橋口 佳典	奈良2団	搬送班
	副長	山下 莉央	奈良2団	女子スカウト指導
	副長	椿井 寿明	奈良4団	食事班
	副長	小池 智也	奈良6団	備品班・会計
	副長	山本 泰三	奈良16団	備品班
	副長	梶間 順次	奈良16団	安全衛生
	副長	福井 安正	奈良17団	食事班
	副長	黒川 啓一	奈良17団	安全衛生
	副長	三口 雄大	奈良20団	全般補佐
	副長	佐藤 剛	奈良24団	全般補佐
	副長補	清原 武尊	奈良18団	指導補助
	副長補	西槇 紘斗	奈良18団	指導補助
	副長補	石崎 真之介	奈良18団	指導補助
	副長補	岡田 幸己	奈良18団	指導補助
	副長補	渡邊 東馬	奈良18団	指導補助
	副長補	川崎 純平	奈良18団	指導補助
	副長補	福島 玲太	奈良18団	指導補助

スカウトの団構成	団名	【人数】	【内訳】		
	2	1 名	学年	人数	※ 隊参加 奉仕 V S
	4	1 名	小6	6 名	
	6	2 名	中1	11 名	
	16	2 名	中2	7 名	
	17	2 名	中3	3 名	
	18	14 名	高1	名	
	24	5 名	高2	名	
		名	高3	名	
	【合計】	27 名	男子スカウト	26 名	
		女子スカウト	1 名		

\* 途中参加・途中退場者を含む

## 事前訓練（集会、キャンプ、指導者会議、他）について

【訓練名】	【期間】	【場所】	【訓練内容】
第1回訓練キャンプ	6/14~15	18団本部	ハイキング、交流（発隊式含む）
第2回訓練キャンプ	7/19~21	黒髪山キャンプフィールド	野外炊事、ハイキング、キャンプファイヤー
指導者会議	5/11,6/8,7/17,7/31,8/6	WEB	

## 隊編成の活動費について

スカウト（所属隊費）から徴収しましたか？	はい	（一人あたり）	4,000円	いいえ
自治体・地区協議会より補助金がありましたか？	はい			いいえ
記念グッズを製作しました？（製作された物は？）	はい、Tシャツ			

## 第20回奈良県キャンポリー参加隊報告書

今回の編成隊に当たっての準備及び成果について（項目ごとに記入下さい）

<b>①事前訓練について</b>
キャンポリー本番での活動を意識し、調理、生活、宿泊、スカウト技能、安全衛生それぞれに課題を設け、全体の技能向上に努めた。特に班メンバー同士の信頼関係構築を最重要目的とし、班メンバーで協力して行うグループワーク系プログラムを中心に実施した。副長との対話を通してスムーズな事前準備を行えた。今回訓練キャンプは2回実施したが、もう一回増やしてもよいと感じた。
<b>②キャンポリー期間中のキャンプ生活について</b>
特段不便もなく生活できた。
<b>③キャンポリーのプログラムについて</b>
非常に練られたプログラムばかりで自隊の活動へも生かしたいと感じた。スカウトもサイトに帰って来るたびに楽しかった思い出やプログラムでの出来事を話してくれ、有意義な体験になったのだという印象を受けた。
<b>④編成隊での課題について</b>
フル参加できることが確定している指導者が少なく、割り振りに苦慮した。
<b>⑤キャンポリーを終えての成果について</b>
参加した全員の記憶に残るキャンポリーが出来た。帰隊後のスカウトは意欲も上がり、積極的な様子を見せてくれており、有意義な活動であったと実感している。また、スカウト間、指導者間での繋がりが出来、今後の活動への道筋が見られた。
<b>⑥（運営側に対して）大会についての課題、気になった点</b>
特にありません。
<b>⑦次大会に必要と感じる点について</b>
スカウト数の増加。
<b>【所感】</b>
全体を通して、貴重な経験を出来る機会をいただきました。スカウトにとっても指導者にとっても重要な機会として今後も参加させていただきたく思います。ありがとうございました。

## 第20回奈良県キャンポリー参加隊報告書（スカウト達の感想）

大会を通じて、思い出に残った事（プログラム、サイト内での生活、他の隊との交流など）や、成長したと思う点、今後に向けた意気込みなど。 ※行数が足りない場合は行を追加してください。

【団名】	18 団	【氏名】	竹田津 晟
<p>プログラムに関して一番楽しかったのはスパイ大作戦でした。スパイ大作戦は無線を使ってキャンプ場内のスパイを探すというチャレンジで、僕は3位になることができました。普段の生活では、ご飯作りを頑張れた。そして特によかったことは、他の隊のスカウトと仲良く活動できたことが良かったと思います。</p>			
【団名】	奈良第24 団	【氏名】	畠中 勇磨
<p>心に残ったプログラムはドローンです。理由はドローンを動かすゲームができたからです。スカウトとしてがんばりたいことは環境保護です。理由は生き物が好きだからです。主にゴミの分別をしたいです。成長したと思う点は炊事で、特に皿洗いが早くなったと思います。</p>			
【団名】	18 団	【氏名】	須崎 亮介
<p>サイト内ではマダニが出たりして大変だったが、プログラムのスパイ大作戦で無線を使って隠れているスパイを見つける競技の中、3位を取れたのが嬉しかった。</p>			
【団名】	18 団	【氏名】	藤井 晴太
<p>僕はドキドキモンキーというプログラムで、巻き結びや角縛りをしたことが一番成長できたと思いました。</p>			
【団名】	18 団	【氏名】	貞国 陽人
<p>私のキャンポリーでの思い出は最終日にドタバタしたことが一番印象に残っています。テントの片づけを終わらせた私は調理班の洗い物を手伝いに行き、急いで終わらせることが出来ました。忙しい中、急いで昼ご飯を食べて皆でバスに乗るため走りました。最終日なので疲れもあって、最後の山場は大変でしたが、今思うと青春です。</p>			
【団名】	18 団	【氏名】	櫻谷 幸亮
<p>私にとってキャンポリーはとても有意義なものでした。他団との交流や様々なプログラムを通して確実に成長することが出来たと感じています。キャンポリーで得た経験や技術を次のキャンプや活動で生かしたいと思っています。長いようで短かったキャンポリーも終わってしまった今は少し寂しく感じています。私たちにこのような機会をくれた大人や隊長にはとても感謝しています。</p>			
【団名】	18 団	【氏名】	大野 航太
<p>今回の大会を通じて一番思い出に残ったことは、他団の人たちと一緒に活動をしたことです。普段、一緒に活動していない人と活動することは、全く話したことがない人と会話をすることを含めてとても緊張しましたが、結果としてすぐ仲良くなれ、楽しい活動が出来ました。このことから、「スカウトは友情にあつい」の大切さに気がきました。もう一つ、「周りをよく見る」ことが大切だと感じました。調理やハイキング中も大切ですが、特に感じたタイミングは、今回参加した無線でスパイ大作戦に参加する前に会場内を散策していた際、無線を使っている人がいることやその場所を覚えていたことで3位に入賞することが出来た時です。こういった長期間のキャンプの体験が自分にとって大切だと思っています。</p>			
【団名】	18 団	【氏名】	植村 拓美
<p>キャンポリーの最初は80lの荷物がとても重くてきつく感じていましたが、最終日にバスに持って行く頃には軽く感じて、成長したと思いました。</p>			

# 第20回奈良県キャンポリー参加隊報告書

報告者：	【地区名】	きたやまと	生駒2X1 隊	【氏名】	久保翔平
------	-------	-------	---------	------	------

隊編成について				
隊指導者数		【人数】	【詳細人数】	
	隊長	1 名	(全日参加： 名 / 部分参加： 名)	
	副長	10 名	(全日参加： 5 名 / 部分参加： 5 名)	
	副長補	名	(全日参加： 名 / 部分参加： 名)	
	上班	1 名	(全日参加： 1 名 / 部分参加： 名)	
隊指導者の役務 ※行が足りない場合は追加してください		【氏名】	【所属団】	【業務分担他】
	隊長	久保 翔平	生駒2団	隊長・プログラム立案
	副長	兼吉 正和	生駒2団	買い出し・送迎・雑務
	副長	丹下 隼斗	生駒1団	1団隊長・生活・点検・会計
	副長	井川 楓莉	生駒1団	1団副長・女子サポート・配給・調理
	副長	山口 和也	生駒10団	10団隊長・生活・点検・スキル補助
	副長	中村 朱里	生駒1団	1団副長・女子サポート・配給
	副長	森下 穂夏	生駒1団	1団副長・女子サポート・配給
	副長	築地 明子	生駒2団	2団副長・女子サポート・配給・調理
	副長	城野 麻里子	生駒2団	2団副長・女子サポート・配給・調理
	副長	野口 達矢	生駒10団	10団副長・スキル補助・搬入搬出
	副長	岩田 大輔	生駒10団	10団副長・スキル補助
	上班	今江 弘明	生駒10団	上班・点検・スキル補助
	スカウトの団構成	団名	【人数】	【内訳】
生駒1団		9 名	学年	人数
生駒2団		12 名	小6	8 名
生駒10団		8 名	中1	9 名
		名	中2	7 名
		名	中3	4 名
		名	高1	1 名
		名	高2	名
		名	高3	名
【合計】		29 名	男子スカウト	16 名
		女子スカウト	13 名	

\* 途中参加・途中退場者を含む

## 事前訓練（集会、キャンプ、指導者会議、他）について

【訓練名】	【期間】	【場所】	【訓練内容】
指導者会議1	5月27日	オンライン	2025年県連キャンポリーきたやまと1隊議事録

指導者会議2	6月10日	オンライン	2025年県連キャンボリーきたやまと1隊議事録
地区ラウンド	6月13日	オンライン	2025年県連キャンボリーきたやまと1隊議事録
第1回訓練野営	6月14日-15日	黒髪山CF	2025年度キャンボリープログラム計画書関連
指導者会議3	6月26日	オンライン	2025年県連キャンボリーきたやまと1隊議事録
指導者会議4	7月10日	オンライン	2025年県連キャンボリーきたやまと1隊議事録
保護者説明会	7月13日	たけまるホール	生駒2X1 派遣隊 保護者説明会
指導者会議5	7月17日	オンライン	2025年県連キャンボリーきたやまと1隊議事録
第2回訓練野営	7月19日-21日	山村野営場	2025年度キャンボリープログラム計画書関連
指導者会議6	7月30日	オンライン	2025年県連キャンボリーきたやまと1隊議事録
臨時地区ラウンド	8月4日	オンライン	2025年県連キャンボリーきたやまと1隊議事録

**隊編成の活動費について**

スカウト（所属隊費）から徴収しましたか？	<input checked="" type="radio"/> はい	（一人あたり）	5000円	<input type="radio"/> いいえ
自治体・地区協議会より補助金がありましたか？	<input type="radio"/> はい			<input checked="" type="radio"/> いいえ
記念グッズを製作しました？（製作された物は？）			Tシャツ（野営部）	

## 第20回奈良県キャンポリー参加隊報告書

今回の編成隊に当たっての準備及び成果について（項目ごとに記入下さい）

### ①事前訓練について

6月14-15日@黒髪山。大雨の中での訓練となり、雨支度の良い訓練となった。主に顔合わせ、スキルチェック、各団の備品持ち寄りを持っていくものの選定を行った。

7月19~21日@山村野営場。炎天下の中での訓練で熱中症対策。ハイキング、工作をメインに日本一チャレンジの項目を盛り込んだ。詳細は計画書参照：2025年度キャンポリープログラム計画書関連

### ②キャンポリー期間中のキャンプ生活について

本番を想定した訓練を行えたため、特に大きな問題はなし。

2日目、薪が割れない問題で朝の調理が遅れ、2日目だけ朝礼が行えなかった。

個別にチケット制度を設けたことでスカウトのモチベーションがあがったことは良かった。

※〇〇できたら、チケット〇〇枚。チケット3枚で、1食リーダーが作るなどのご褒美制度。

### ③キャンポリーのプログラムについて

いろんなプログラムをご用意いただき、感謝です。選択プログラムが当選しすぎて日本一チャレンジの時間がなかった班があり、自己責任ではあるものの、1枠はそれに充てるというルールを設定すればよかったと反省。訓練の甲斐あって上位入賞できた班が多く、本人らも自信がついてよかった。一方、プログラム中に指導者に暴言を吐いたスカウトがいたのは遺憾。

### ④編成隊での課題について

たまたまであるが、ほぼ半数が女子ということ、生理期間が被るスカウトが数名おり、シャワーの送迎が課題であった。（当該スカウトが班長次長であったため）夜にも、女子時間があれば…。それ以外での編成隊だからこそその課題は特になし。

※現隊班で隊を構成したため、GB訓練、班集会を行っていたのが良い。混成班だと厳しいと感じる

### ⑤キャンポリーを終えての成果について

6月の訓練時にはほぼ日本一プログラムは、初めてというスカウトばかりであったが、期間を通して、練習して結果を出す、結果が出るまで挑戦するという行動がみられてよかった。また、9時からプログラムが始まるため、8時半には朝礼を終えた状態（7時45分点検）にというスケジュール進行で進めていたため、調理の工夫が数多く生まれたことは良い成果であった。例：卵はゆで卵や落とし卵にして火口と洗い物を減らすなど。

### ⑥（運営側に対して）大会についての課題、気になった点

本番を想定した訓練、調理をしたという隊が多かったと思うが、決定事項が若干遅く、想定訓練ができなかった隊が多かったのではと思う。ドライブ活用、Lineはありがたかった。欲を言えば、名簿提出やこの報告書もセル結合が多いエクセル形式で、ドライブを使う上ではDocs、スプシ、フォームの活用など、事務局などにITリテラシーが高い人を入れてほしい。はやまが電波が悪いので、簡易基地局などに費用割り当ててもよかったのでは？と思う。インスタのプログラムあってもアップも、閲覧もできなかったのでは？少しもったいないかなと…。

### ⑦次大会に必要と感じる点について

はやまでやるということ前提ではあるが、排水場所の残飯処理がひどい。そのまま流したり、残飯だけを持ってきてDサイトのかごを外して流しこむリーダー、スカウトが見受けられた。水汲み、排水がどうしても小6の仕事となるので、気持ちはわかれども…。次回より、トイレ掃除以外に、排水場所の残飯処理という当番を設けるか、物理的に捨てられない工夫が必要と感じた。上述しましたが、電波の簡易基地局か移動基地局など1日数万円なので検討いただきたい。

### 【所感】

1日短かったことから若干プログラムがつまり、サイトでの生活改善、特に工作などが余力がなかったということがあり、5泊欲しいと感じた。日本一チャレンジがスカウトスキルを競うものであることから、選択プログラムにお遊びプログラムがもっと増えればよいと感じる。  
例：水鉄砲バトルロワイヤル、アーチェリー体験、カヌー体験、バンジージャンプ、ジップライン

## 第20回奈良県キャンポリー参加隊報告書（スカウト達の感想）

大会を通じて、思い出に残った事（プログラム、サイト内での生活、他の隊との交流など）や、成長したと思う点、今後に向けた意気込みなど。 ※行数が足りない場合は行を追加してください。

【団名】	生駒1 団	【氏名】	保江
<p>4泊5日のテント生活はとても楽しかったです。今年初めてのキャンプで色々なことを体験することができました。2日目の夜は暑くて全然寝ることができませんでした。トイレからサイトが遠かったのが困りました。キャンポリーで一番楽しかったことはおにぎりパーティです。入賞することはできませんでしたが、とてもいい思い出になりました。仲間たちと一緒に会話しながらおにぎりを作ることができたので嬉しかったですし楽しかったです。</p>			
【団名】	生駒1 団	【氏名】	司
<p>テント設営のときにサイトを作るのに時間がかかり、難しかったです。最後のテントの片付けも大変で疲れました。夜ご飯で薪に火を点けるのに時間がかかりました。ハプニングでお味噌汁をこぼしてしまい、悲しい気持ちになりました。ロープワークが難しく、鑑結びができなかったです。みんなでストレッチャーレースをして協力することができました。最終日にお菓子パーティーをして、帰りの車でたくさん話して楽しかったです。キャンポリーに参加したことはいい思い出になりました。</p>			
【団名】	生駒1 団	【氏名】	涙迦
<p>最初、キャンポリーは、どれだけ大変なんだろうと少し怖かったです。でも、いよいよ当日になって活動していくと、確かに大変なことも色々あったけど、良い思い出もいっぱい出来ました。あとめっちゃ頑張った後に入ったお風呂やたまに食べれたかき氷が、とっても最高でした。それと日本一チャレンジのストレッチャーレースや手旗では最初は1位を取っていたが、団の皆さんと喜んでいたら最後に抜かされてしまった。とても悔しかったです。</p>			
【団名】	生駒1 団	【氏名】	みさき
<p>"私は、2回目のキャンポリーを班長という立場で行きました。1回目のキャンポリーでは、ボーイに上がったばかりで何をしたらいいかわからず、班長が言ったことをできるかぎりやっていました。今回のキャンポリーでは、班長もしての役割を果たすだけでなく、皆さんと一緒にキャンポリーを成功できるようにやりました。今年で、ボーイ活動は終わるけど、これからも頑張っていけたらいいなと思いました。"</p>			
【団名】	生駒1 団	【氏名】	莉乃
<p>キャンポリーでは色々なプログラムに参加しました。印象に残っているのは、スパイ大作戦とフラッグコミュニケーションです。スパイ大作戦では、1位をとれてうれしかったです。フラッグコミュニケーションは2位をとることができました。今回のキャンポリーでは沢山の経験と思い出ができました。</p>			
【団名】	生駒1 団	【氏名】	莉央夏
<p>私のはじめてキャンポリーという長いキャンプを体験したんですが、初めの時は少し嫌だったけど実際にやってみると意外と早く終わって、キャンポリーで開催していた日本一プログラムもとても楽しくて良い体験ができたと思いました。また違う団とのコミュニケーションを取ることができて、また違う場面であった時に話したいです。</p>			
【団名】	生駒1 団	【氏名】	愛美
<p>"私はキャンポリーに行く前に3回練習しました。一回目は何も分からなかったけど2回目から言われたことを全部したら優秀班になってとても嬉しかったです。キャンポリーでは日本一チャレンジをして、手ばたが2位になってとってもうれしかったです。キャンポリーはもっとしんどそうやなーと思ってたけど意外と普通でした。やっぱり1番楽しかったのは、ちがう班の子と話すことです。また、話せる機会があったら一緒に喋りたいです。"</p>			

【団名】	生駒1 団	【氏名】	結愛
<p>キャンポリーが始まる前は4日も泊まるのにしんどくならないかと心配していました。でも実際にキャンポリーに参加してみても体調は悪くなりませんでした。ご飯作りが大変でした。中でも楽しかったのは、日本一プログラムの手旗です。なぜなら手旗をうてるようになり、会話もできるようになったからです。今後のボーイスカウト活動に活かしていきたいと思います。</p>			
【団名】	生駒1 団	【氏名】	光
<p>キャンポリーに参加して印象に残った事は、スパイ大作戦です。無線を使い、時間内にスパイを見つけ出すのはすごく難しかったです。1位になることができ嬉しかったです。他のプログラムや生活でもみんなと協力する事ができ、良かったです。</p>			
【団名】	生駒2 団	【氏名】	豊島遼彦
<p>"僕が1番印象に残ったのは、日本一プログラムのうちの一つの手旗で1位をとれたことです。なぜそれが1番印象に残ったかということコブラ班の挑戦した日本一プログラムで唯一入賞したプログラムが手旗だったからです。初めは30分だったけど、最終的には目標タイムの6分を越して5分13秒で一位を取れたから満足です。"</p>			
【団名】	生駒2 団	【氏名】	奥田康介
<p>最初、4泊5日も耐えられるかな、と不安でいっぱいでした。森の中だったので暑さは訓練キャンプよりマシでした。同じ班のメンバーが多かったので、役割分担ができたのも訓練キャンプより良かったと思いました。キャンポリーではポイント制でいろんな褒美を貰えるのが面白かったです。僕たちの班はジュースとコンロを選びました。火をつけるのがラクで朝の時間を長く使うことができました。夜、真っ暗なテントの中にセミがいて暴れていたのが驚いたけれど、まあまあ寝られました。疲れたけれど、最後までやり遂げることが出来て、少しだけ自信がついた気がします。</p>			
【団名】	生駒2 団	【氏名】	門田響
<p>僕は初めてキャンポリーに参加しました。四泊五日は初めての経験でした。水道が使えないなか、何度も火を起こし、ご飯を自分たちで作って、片づけまでしないといけなかったのが大変でした。班で役割分担をしながら活動することができました。ドローンや燻製などの面白いプログラムがたくさんあり楽しかったです。特に思い出に残っていることは手旗で奈良県1位を取れたことです。最初は約30分かかりましたが、ベンチャーの方にメモの取り方についてのアドバイスをもらい、最終的には約5分でできました。練習の甲斐が出てよかったです。これからもこの経験を活かして仲間と頑張りたいです。</p>			
【団名】	生駒2 団	【氏名】	永井 千秋
<p>"私にとって4泊5日という長いキャンプは初めての経験でした。その中で、良かった点が2つあります。1つ目は、自分のことは自分です、ということがどんなに難しいことか分かったことです。キャンプ中は荷物、食べるもの、服など、すべて自分の物は自分で管理しなければならず、家とちがって苦労しました。両親のありがたさが分かりました。2つ目は、自分で色々な料理を作れるようになったことです。料理をする際にレシピが無く、「こうかな?」という感じで作ったメニューが、意外にも美味しく驚きました。悩みながらの調理は初めてでしたが楽しかったです。反対に良くなかった点は、洗濯が出来なかった、と言うか、しなかったことです。洗濯をすれば荷物が少なくてすむし、服のおいも落ちてもっと良い気分キャンプを過ごせたと思います。次の大きなキャンプでは実践してみたいです。いろんなことがあった今回のキャンプ、良い点は活かして、悪い点は直せるように次の活動から頑張ります。"</p>			
【団名】	生駒2 団	【氏名】	城野巴希
<p>私は1泊しか参加できませんでした。ですが、キャンポリーを通して、班で協力し、物事にチャレンジすることが以前よりも出来るようになったと、感じました。人数の関係で色々な種目を同時にチャレンジすることは難しかったです。つぎは、もっと、技術を磨いて、人数が少なくても、色々な種目を同時にチャレンジし、色々な種目で表彰されたいです。</p>			

【団名】	生駒2 団	【氏名】	奥村 資
<p>"今回のキャンポリーでソーセージダンパーやアルコールストーブなどの体験が出来ました。米をうまく炊ことが出来たり、ピーマンの種を一気に取れたり、カレーに入れる水が多すぎてカレールー多すぎ問題が発生したりしたけど楽しかったです。次回のジャンボリーに参加するために2級章をゲット出来るように頑張ります。"</p>			
【団名】	生駒2 団	【氏名】	松江駿太郎
<p>普段の生活とは違う電波も入りづらい電気、水道も使えないと言う状況だったけど、自然の中で楽しむキャンプもとても良かったです。選択プログラム屋日本一チャレンジもいつもの成果が出たのでとても良い経験になりました。</p>			
【団名】	生駒2 団	【氏名】	中本 誠士朗
<p>四泊五日のキャンプは流石にしんどかったです。特に大変だったのは料理をするために薪を割り、そこから火を焚く作業でした。自分で一から準備することに慣れていなかったのもとても苦労しました。中でも一日目に配給された薪は悪く、なかなか火がつかずに大変な思いをしました。それでも何とか火をおこすことができたときはほっとしました。全体的にしんどさは大きかったです、貴重な経験になったと思います。</p>			
【団名】	生駒2 団	【氏名】	中本乃愛子
<p>この4泊5日は嬉しい楽しいと言うよりも帰りたいの方が勝ちました。ですが、ハイキングがおわると達成感がありましたし、朝昼晩とご飯を作るのには時間がかかり、洗い物が大変だということも分かり、学べたことが多かったです。今回のキャンポリーでは、日常生活が普通に送れない感じで、行ってよかったですと思いました。</p>			
【団名】	生駒2 団	【氏名】	新木彩心
<p>私が、キャンポリーに参加した中で印象に残っているのは、今まで知らなかったアルコールストーブを作った事です。そして、ソーセージダンパーは、作っていて楽しかったです。</p> <p>日本一チャレンジには、オニギリパーティに参加し、負けてしまったけれど、楽しく参加できました。夜は、消灯後も、テントの中でお喋りしたり、マジカルバナナをしたりして、楽しく過ごせましたが、吐山には、ツキノワグマが出ると聞いた夜は、あまり寝むれませんでした。同じテントで寝ていた他のスカウトも、何度も目が覚めたと言っていました。キャンポリーでは、普段できない経験が色々できて、本当に楽しかったです。</p>			
【団名】	生駒10 団	【氏名】	長澤凛
<p>小学生6年の時にも1度キャンポリーに参加したことがあったので今回も同じ様な内容なのかなと思っていたけど選択プログラムも変わっていたし、キャンプ地や炊事の仕方など色々な違いがあって楽しむことが出来ました。日本一プログラムも3年前はあまり好成绩をとることが出来なかったけど、今回は4つも上位入賞することが出来、自分達の成長も感じられる4泊5日となりました。これからも団で技術を高め、更に成長していきたいです。</p>			
【団名】	生駒10 団	【氏名】	長島英龍
<p>県キャンポリーでは、「日本一プログラム」が一番楽しかった。自分が出た「レイジングフラッグ」は今までで最高のタイムが出せ、1位が獲れて嬉しかった。2 X 1 隊は、ほとんどの種目が高成績でよかったけど、僕は、全部1位をとりたかった。一番しんどかったのは、ハイキング。道を間違え、倍の距離を歩いてしまった。困った事は沢山あった。まず、タープのロープやペグ、ポールが足りなかった。それでも、周りの木の枝を使うなどして、知恵を出し合いなんとかテントをはった。小さな困り事は、足が臭くなったら靴下を履きかえるなど。他の山で熊が出たときいて、夜、寝る時は怖かった。色々あったけど、どうにかなるという気持ちになっていた。食事は、毎回足りなかったけど、キノコが出なくてホッとした。シシャモの薫製は美味しかった。今回、1 団と2 団と合同隊になって、沢山のスカウトやリーダーと交流できた。仲良くなれたスカウトもいた。キャンポリーから帰宅して、お腹がペコペコで、父と、ラーメンを食べにいった。風呂で温もり、布団で眠れる、いつもの家での生活がありがたく思えた。</p>			

【団名】	生駒10 団	【氏名】	野口大空翔
初めての県キャンポリーでした。毎年、4泊5日のキャンプをしています。今年も他の隊との合同だったので仲良くなったスカウトもいました。色々な記録が残せて良かったです。			
【団名】	生駒10 団	【氏名】	野口陽翔
ボーイ隊へあがってはじめての4泊5日のキャンプでした。はじめての事が多く大変だったが、色々挑戦できて良かった。出来ない事も多かったのも、また活動の中で頑張り2級章を取りたいです。			
【団名】	生駒10 団	【氏名】	岩田 陸
今年例年と違いキャンプの中でのプログラムが多く用意されていて、普段のキャンプよりやる事がたくさんあり、暇を感じる事が無く、充実していました。特に面白かったプログラムは俺の燻製でした。最初は燻製は普通の料理よりも美味しくないと思っていましたが、燻製特有の香ばしい香りもあり、意外に水分を残すこともできて、想像よりもとても美味しかったです。また、作り方も簡単でしたので今後も役立てたいと思いました。			
【団名】	生駒10 団	【氏名】	友岡 駿
感想としてはすごく嫌なキャンプでした。なぜなら夜スマホを没収され、没収してきたリーダーに理由を聞いても、「ルールだから」「決まったことだから」等教えてくれず、1日目の没収された翌日、朝6時の配給のときに返すと言っていたはずでしたが「忘れていた」とふざけたことを言って結局返してもらったのは朝8時。〇時〇〇分に〇〇が来ると連絡が来ても、スマホを没収されていたので時間は見れずにすごく困りました。ちゃんと聞いても「夜更かしさせない為。」と言われました。ですが僕はリーダーたちの会話を聞きました。「夜コーヒー飲んだから夜の2時まで起きちゃってたせいで眠いです」と、言う会話を聞きました、子供たちには夜更かしさせない為とか言いつつながら自分たちは夜更かしをしまくり。すごくすごく不快でした。はっきり言ってスマホを没収するのは違うと思います。スマホを没収しても子供たちは起きていました。意味ないです。スマホ没収するのは辞めてください。スマホ没収と決めた人はちゃんと自分の脳みそで考えているのが気になります。没収するならちゃんとした理由を没収する人に伝えて、しっかり子供たちが納得できるような理由を考えてから没収してください。すごく嫌なキャンプでした。スマホ没収しときながらリーダー達は夜更かしするってすごくおかしいことだと思います。キャンプでスマホを没収するなんてありえないことです。次からやめた方がいいと思います。このスマホ没収の出来事のせいで嫌な思い出しかありません。こんなに楽しくないキャンプなど初めてでした。			

## 第20回奈良県キャンポリー参加隊報告書

報告者：	【地区名】	きたやまと2 隊	【氏名】	土屋 芳真
------	-------	----------	------	-------

隊編成について				
隊指導者数		【人数】	【詳細人数】	
	隊長	1 名	(全日参加： 1 名 / 部分参加： 名)	
	副長	6 名	(全日参加： 3 名 / 部分参加： 3 名)	
	副長補	名	(全日参加： 名 / 部分参加： 名)	
	他	3 名	(全日参加： 3 名 / 部分参加： 名)	
隊指導者の役務 ※行が足りない場合は追加してください		【氏名】	【所属団】	【業務分担他】
	隊長	土屋 芳真	生駒9	隊長 班担当
	副長	福井 伸樹	郡山1	班担当 スキル補助 雑務
	副長	藤田 大介	生駒3	班担当 スキル補助 雑務
	副長	小城 浩充	生駒5	スキル補助 雑務
	副長	森 奏乃	生駒9	雑務
	副長	本塚 真由美	郡山1	雑務
	副長	橋爪 美貴子	生駒5	雑務
	インストラクター	Autumn Vale Waddington	郡山1	
	補助者	James Leigh Gray	郡山1	
上級班長	中西 姫菜	郡山1	上班	
スカウトの団構成	団名	【人数】	【内訳】	
	郡山1	9 名	学年	人数
	生駒3	7 名	小6	8 名
	生駒5	2 名	中1	10 名
	生駒9	5 名	中2	5 名
		名	中3	0 名
		名	高1	名
		名	高2	名
		名	高3	名
	【合計】	23 名	男子スカウト	15 名
		女子スカウト	8 名	

\* 途中参加・途中退場者を含む

事前訓練（集会、キャンプ、指導者会議、他）について			
【訓練名】	【期間】	【場所】	【訓練内容】
訓練キャンプ	6/14~15	風とんぼ	料理、日本一チャレンジ
GB会議	7/20	生駒3団キャンプ場	参加プログラムの検討
訓練キャンプ	7/26~27	山村野営場	料理、日本一チャレンジ
隊編成の活動費について			
スカウト（所属隊費）から徴収しましたか？ <input checked="" type="radio"/> はい (一人あたり) 円バラバラ円 いいえ			
自治体・地区協議会より補助金がありましたか？ <input checked="" type="radio"/> はい いいえ			
記念グッズを製作しました？（製作された物は？） Tシャツ			

## 第20回奈良県キャンポリー参加隊報告書

今回の編成隊に当たっての準備及び成果について（項目ごとに記入下さい）

### ①事前訓練について

日程が合わず1泊のキャンプしかできなかったが2泊以上のキャンプをしてスカウトの能力の見極めが必要と感じた。日本一チャレンジの練習をしていて良かったと思う。

### ②キャンポリー期間中のキャンプ生活について

長期野営に慣れていない中、深夜まで作業をし、寝不足となり、連日の寝不足が続き、体調不良者をたくさん出してしまった。

### ③キャンポリーのプログラムについて

日本一チャレンジに挑戦する時間がなく、プログラムをすべて埋めるのではなく、日本一チャレンジに挑戦する枠を組めばよかった。また、休憩枠も組み込んだ方が良かったのかなとも思った。

### ④編成隊での課題について

混成隊で各団の日程が合わず、班長会議やGB訓練がほとんど開催できず、各団に委ねるしかなかった。班担当の副長、それ以外の副長を置かないと各班につきっきりとなってしまう、副長の負担も多くなってしまった。

### ⑤キャンポリーを終えての成果について

長期キャンプの中で、他団スカウトとの交流ができ良かった。スカウトの性格が出てきて、その中でも責任を持ってやり切ろうとしたり、指示を出せるようになったりと成長を感じられるスカウトがいた。

### ⑥（運営側に対して）大会についての課題、気になった点

配給の量や単位が「えっ」と思わせるような配給であった。塩1キロとか。食卓塩でいいのではないかな。隊で分けれるように入れ物など持ってくるよう案内があったがそれ以上に分けるものが多かったので配給量など事前に知らせてくれるとありがたいです。シャトルバスを上手く利用できなかったことが残念。説明では参加隊指導者は利用可能という話だったが、現場で認識が異なっていた。プログラムの決定が遅い割に提出は急がされること。直前の隊長会議での追加や変更は大変（スタンツなど）

### ⑦次大会に必要と感じる点について

スタンツは直前に知らされたけど、やって良かったと思う。運営側と指導者側の連絡体制を構築する必要がある。電話番号を伝えているのにLINEで電話（友だち登録をしていないと電話に出れない）があったりしたので、隊長会議の時にLINE交換するなどしておいた方がいい。女子も夜の時間帯に野営場のシャワーを使えるようお願いしたい。

### 【所感】

初めてのキャンポリーだったが、事前の説明から「知っている前提」での説明が多く、戸惑うことが多かったのが次回はこの経験を活かしてより良いキャンプができるようにしていきたい。楽しめたと言うよりは疲れたという声が多く、反省している。その中でジャンポリーに参加したいと言ってくれたスカウトがいることが大変嬉しい。

## 第20回奈良県キャンポリー参加隊報告書（スカウト達の感想）

大会を通じて、思い出に残った事（プログラム、サイト内での生活、他の隊との交流など）や、成長したと思う点、今後に向けた意気込みなど。 ※行数が足りない場合は行を追加してください。

【団名】	生駒9 団	【氏名】	天井 喜大
キャンポリーでプログラムではみんなが協力したりして班での絆が深まったことが思い出に残っています。 班長として指示をするより自分でしてしまうのも多かったのでこれから、手の空いている人がいたら何かすることを見つけて的確に指示ができるようになればいいと思います。			
【団名】	生駒9 団	【氏名】	松下 実
今回のキャンポリーは仕事が早い組・仕事の取り掛かりが早い組にそれなりに仕事が集中したと思うので次回は分担化をできるように指示をもうちょい的確にだして皆で分担したいです			
【団名】	生駒9 団	【氏名】	中谷 悠人
思ったより楽しかったけどしんどかった。。特に料理できる人がいなかった。次はもうちょっと上手くできたらいいなと思った。			
【団名】	生駒9 団	【氏名】	土屋 万葉
私がキャンポリーで心に残ったことは、ハイキングです。 なぜかというとう山道を登るのがめちゃくちゃ大変だし暑い中歩いて疲れたけど、みんなで協力しながら登山をして楽しめたからです。何をするにも時間がかかってしまうことがあったので次からは時間を見ながらテキパキと行動しようと思います。			
【団名】	生駒9 団	【氏名】	徳本 孝枝
山に登ったのが一番大変だった。みんなで分担して時間どおりに動くことが難しかった。火をつけれる状態じゃない時は、人手が足りていないところに行って早く火をつけれるようにする。火をつける時は炒めたり料理するものがあるときにする。理由は早く火をつけすぎたら燃料（木）がもったいないから。			
【団名】	生駒第3 団	【氏名】	長岡有一
サイトの場所が上り下りが大変だった。 みんなダウンしていた。			
【団名】	生駒第3 団	【氏名】	小関心望
思い出：ハイキング、閉会式時の動画、ドローンやソーセージダンパー、普段と違う団の子と活動できたこと。寝る時間が遅かった。ストレッチャーレースで4位になった。 マシュマロがおいしかった（アルスト）。ハナミズキ（柴犬）が可愛かった。 成長したこと：まきわり、重いものをたくさん運んだ。 今後の意気込み：また、違う班・隊の子と活動したい。火起こしできるようになりたい。			
【団名】	生駒第3 団	【氏名】	田中水萌
思い出：ハイキングでベンチャーの人と一緒にいったこと。違う団の人と仲良くなった。 ポリタンクを運ぶのが大変だった。寝る時間が12時より遅くて眠かった。 ソーセージダンパーが楽しかった。 隊のオータムさん、ジェームズさん、ハナミズキ（柴犬）と仲良くなった。 成長したこと：たくさんの人と友達になった。 今後の意気込み：来年のジャンボリーに行きたい。もっと火起こしがうまくなりたい。			

<b>【団名】</b>	<b>生駒第3 団</b>	<b>【氏名】</b>	<b>藤本晴夏</b>
<p>思い出：アルコールストーブ作り、ソーセージダンパー、ドローンなど選択プログラム。 寝る時間がめちゃ遅かった。サイトが良かった。坂が大変だった。 ストレッチャーレースが4位とれた。 オータムさんジェームズさんに英語を教えて貰えた。ハナミズキ（柴犬）が可愛かった。</p>			
<b>【団名】</b>	<b>生駒第3 団</b>	<b>【氏名】</b>	<b>西川杏奈</b>
<p>思い出に残ったこと</p> <p>ソーセージダンパー：P-CON時に作ったツイストパンと似たような感じだったから上手に作れたと思います。 混ぜるときに手元が熱かったのをよく覚えています。自分達で残っている火種をうちわであおぐのがしんどかったです。 俺のアルスト：学校でアルコールストーブをしないので、アルコールを使って火をつけるのはおそらく初めてでした。 自分で作った缶に火をつけてマシュマロを焼いて食べたのが印象に残っています。持ち運びが便利なのがいいと思いました。 ドローン：普段ドローンを飛ばす機会がないので飛ばせてよかったです。操作できるか不安だったけど意外とできました。 今はもうほぼ忘れてしまったけど良い経験になったと思います。 三角点登山（ハイキング）：想像していたより道が険しくて、「これ道かな？」思う所が何か所がありました。 坂が急すぎて前に進みたくない、と思うほどでした。結構疲れました。ハイキング後の温泉最高でした。 温泉までの道に見えた山を「登ったんだよ」と教えてくれて「これ登って下りてきたのすごすぎ！」と自分を褒めました。 キツすぎて、もう登りたくありません。 成長したこと：普段家ではしないことや、できないことを出来るようになった事。無理だと思う事にも挑戦してみたこと。 キャンプ力が少しは極めることができたのではないかと思います。 今後の意気込み：キャンポリーで教わったことを今後に生かせたら良いなと思います。</p>			
<b>【団名】</b>	<b>生駒第3 団</b>	<b>【氏名】</b>	<b>永井郡士</b>
<p>思い出に残ったこと：ハイキングでずっと歩いて、みんなでおにぎり食べておいしかった。 成長したこと：長いキャンプも行けて精神的に強くなった。 今後の意気込み：たちかまどを作れるようになりたい。困っている人を手伝いしたい。 自分で動いて自分から片付けしたい。</p>			
<b>【団名】</b>	<b>生駒第5 団</b>	<b>【氏名】</b>	<b>澤井 壱仁</b>
<p>簡単に言うと、時間帯で物凄く気分が変わると言うか何と言うか、、、昼頃は案外楽しいじゃんって 思っているけど、暗くなり始めたら物凄く気分が落ち込んで憂鬱になりました。 いつもはこの時間、家に居るから分からない事で、四泊キャンプの新鮮さを感じました。</p>			
<b>【団名】</b>	<b>生駒第5 団</b>	<b>【氏名】</b>	<b>上村 龍ノ介</b>
<p>班のみんなでスパイ大作戦やドローンなどのプログラムをした事が思い出に残りました。 成長したところは、自分でみんなの為に食器を洗ったりしたところです。 プログラムはドローンが楽しかったです。辛かったのはハイキングです。 ポリタンクやバケツ運びに行くのが結構大変でした。</p>			
<b>【団名】</b>	<b>大和郡山 第1 団</b>	<b>【氏名】</b>	<b>中前 夏帆</b>
<p>思い出に残ったプログラムはハイキングでみんな協力していけて、最後までたどり着けたから 良かった。サイト内の生活は、立かまどが倒れたりしてしまったけど、色々工夫したりして 直ったからよかった。他の隊の子たちと色々話をしたり、協力したりして仲良くなれたから良かった。</p>			
<b>【団名】</b>	<b>大和郡山 第1 団</b>	<b>【氏名】</b>	<b>酒井 雄吾</b>
<p>思い出に残ったプログラムはハイキングで、道を間違えたりしたけど最後までたどり着けて 良かった。サイト内での生活は何も起きることがなく平和で終わって良かった。</p>			

<b>【団名】</b>	<b>大和郡山 第1団</b>	<b>【氏名】</b>	<b>石田 考汰朗</b>
<p>僕が思い出に残ったことはソーセージダンパー作りを体験したことです。  記事を書ける工程に苦労しましたが、とても美味しいソーセージダンパーを作ることが出来ました。  日本ジャンボリーの参加を目指して、頑張りたいです。</p>			
<b>【団名】</b>	<b>大和郡山 第1団</b>	<b>【氏名】</b>	<b>宮岡 峻慈</b>
<p>思い出に残ったプログラムは、バリスタシューティングです。角しぼりが今まで出来ませんでしたが、バリスタシューティングで出来るようになりました。  班長が新聞で作った玉を取れてよかったです。</p>			
<b>【団名】</b>	<b>大和郡山 第1団</b>	<b>【氏名】</b>	<b>本塚 悠真</b>
<p>思い出に起こったのはドローンプログラムが一番の思い出です。飛ばすのが上手くできて良かったです。ドローンにも免許があるなんて初めて知りました。うまく操作できてうれしかったです。</p>			
<b>【団名】</b>	<b>大和郡山 第1団</b>	<b>【氏名】</b>	<b>初鹿野 展三</b>
<p>思い出に残ったのは、ハイキングで道を間違えたけど、たどり着けたことと、ソーセージダンパーです。中までしっかり焼けておいしかったです。  ドローンプログラムもうまく操作できて、うれしかったです。</p>			
<b>【団名】</b>	<b>大和郡山 第1団</b>	<b>【氏名】</b>	<b>初鹿野 維人</b>
<p>思い出に残ったプログラムはハイキングで、道がわからなくて引き返したりしたけど、最後までたどりつけて良かった。</p>			
<b>【団名】</b>	<b>大和郡山 第1団</b>	<b>【氏名】</b>	<b>中西 姫名</b>
<p>副長2人と日本一プログラム「ストレッチャーレース」に参加したのが印象に残っています。  LowBarに参加したことによって他団の人と交流できたのがとてもよかったです。</p>			
<b>【団名】</b>	<b>大和郡山 第1団</b>	<b>【氏名】</b>	<b>尾田 優奈</b>
<p>私が県キャンで思い出に残ったことは、一つ目がドローン操作です。初めての体験で上手く操作出来て着地も成功しました。二つ目はソーセージダンパーです。  中までしっかり火が通って美味しかったです。キャンプはいつもの隊キャンプと違って体力のいるキャンプだったと思いました。</p>			
<b>【団名】</b>	<b>大和郡山 第1団</b>	<b>【氏名】</b>	<b>尾田 知輝</b>
<p>僕が思い出に残っていることは、まず無線でスパイ大作戦です。上手く連絡が届いた時は面白かったです。次はハイキングです。暑い中、一日中歩いてともしんどかったですが、ゴールしたら達成感があり楽しかったです。</p>			

# 第20回奈良県キャンポリー参加隊報告書

報告者：	【地区名】	まほろば 隊	【氏名】	平原 洋亮
------	-------	--------	------	-------

隊編成について				
隊指導者数		【人数】	【詳細人数】	
	隊長	1 名	(全日参加： 1 名 / 部分参加： 名)	
	副長	7 名	(全日参加： 2 名 / 部分参加： 6 名)	
隊指導者の役務 ※行が足りない場合は追加してください		【氏名】	【所属団】	【業務分担他】
	隊長	平原 洋亮	橿原第1団	全般指示
	副長	橋本 泰和	桜井第2団	隊員指導・安全
	副長	山本 多恵	橿原第1団	配給・救護
	副長	岡本 好央	橿原第5団	隊員指導
	副長	伊藤 英和	橿原第8団	隊員指導
	副長	山谷 津由子	橿原第8団	配給・救護
	副長	千葉 美雪	橿原第8団	配給・記録
	副長	藤本 祥孝	橿原第8団	安全
	副長	松田 恵理	磯城第1団	配給・記録
スカウトの団構成	団名	【人数】	【内訳】	
	橿原第1団	6 名	学年	人数
	橿原第5団	4 名	小6	8 名
	橿原第8団	7 名	中1	6 名
	磯城第1団	10 名	中2	9 名
	桜井第2団	1 名	中3	5 名
		名	高1	0 名
		名	高2	0 名
		名	高3	0 名
	【合計】	28 名	男子スカウト	22 名
		女子スカウト	6 名	

\* 途中参加・途中退場者を含む

事前訓練（集会、キャンプ、指導者会議、他）について				
【訓練名】	【期間】	【場所】	【訓練内容】	
発隊式	4月29日	しきのみちはせがわ展望公園11号 ひょうたん広場	他団交流会	
地区合同キャンプ	5/31~6/1	桜井第2 団野営場	班づくり、ハイキング、 ロープワーク、日本プログラム	
地区合同キャンプ	7/20~7/21	はやまの森野営常	班づくり、立ちかまどづくり 日本プログラム	
隊編成の活動費について				
スカウト（所属隊費）から徴収しましたか？	はい	(一人あたり)	2,000円	いいえ
自治体・地区協議会より補助金がありましたか？	はい			いいえ
記念グッズを製作しました？（製作された物は？）	ネッカチーフ			

## 第20回奈良県キャンポリー参加隊報告書

今回の編成隊に当たっての準備及び成果について（項目ごとに記入下さい）

### ①事前訓練について

- ・2回の訓練キャンプでは、チームワーク（絆）づくりを念頭におき、ハイキングや日本一プログラムの訓練を行い、チームでの行動、キャンプ生活に慣れるよう指導した。
- ・スカウト全員に対し、刃物の取り扱い等について、けがはなかったものももっと事前に指導しておく必要があった。
- ・1泊2日の訓練キャンプではなく、もう少し長期で訓練キャンプが実現できればよかった。

### ②キャンポリー期間中のキャンプ生活について

- ・山林の中で生活空間が狭い中、出来る限りサイトを広く使えるよう、サイト整備を行った。
- ・安全を第一に考え、なたの使用場所、火床の場所を工夫した。
- ・小学6年生にとっては、初めての長期キャンプで緊張もあり、3日目以降体調不良の隊員が現れ、帰宅する隊員もいたため、今後、どのように対処するかが課題となる。

### ③キャンポリーのプログラムについて

- ・プログラムの選択については、編成班で選択し希望を県連にあげたが、予定を詰め込みすぎた点が気になった。指導者としてももう少し余裕のある日程の組み方を隊員に示し、プログラムの選択をする必要があった。
- ・自分たちで選択したプログラムだったので、隊員たちは満足した様子で活動していた。

### ④編成隊での課題について

- ・班編成については、各隊の班長次長のスカウト技能と各隊員との相性を勘案し各隊長との話し合いで班編成を行ったが、隊員たちは日頃から一緒に活動をしていないため、隊員間の意見の不一致や指揮命令系統がうまくいかなかった場面も多くみられた。
- ・事前にグリーンバー訓練、会議を持つ必要があった。

### ⑤キャンポリーを終えての成果について

- ・隊員、指導者共に他団との交流、共同生活ができ各団のやり方や、考え方を知ることができた。
- ・以後、合同で活動する予定もあり、いい機会になった。
- ・隊員たちのつながりができた。
- ・今後のキャンプ時の指導の仕方、見方が変わった。

### ⑥（運営側に対して）大会についての課題、気になった点

- ・大きな課題はないが、キャンプ場所の立地が各隊で大きく違うため、整備等に制限がかかると隊員のキャンプ生活に影響が出る可能性がある。

### ⑦次大会に必要と感じる点について

- ・はやまの森以外でのキャンプ地の選定。

### 【所感】

- ・県キャンにむけて、2回の訓練キャンプを行ったが、他団の隊員とキャンプを行ううえで、隊員の精神面も考えると、回数が少ないと感じた。次回に向けて、キャンプ期間や回数を改めて各隊長と会議を重ね、また、スカウト技能の向上や交流の場を地区でも多く持つ必要があると考える。

## 第20回奈良県キャンポリー参加隊報告書（スカウト達の感想）

大会を通じて、思い出に残った事（プログラム、サイト内での生活、他の隊との交流など）や、成長したと思う点、今後に向けた意気込みなど。 ※行数が足りない場合は行を追加してください。

【団名】	橿原第1 団	【氏名】	西浦 功清
<p>疲れたけど、楽しかった。他の団との交流が良かった。</p>			
【団名】	橿原第1 団	【氏名】	西浦 玄紀
<p>4泊5日は長くて疲れたけど、楽しいこともありました。他の団の人と食事をしたり、お風呂に入ったりして楽しかったです。</p>			
【団名】	橿原第5 団	【氏名】	加藤 結衣
<p>最初は猛暑の中での地獄のキャンプだと思っていました。1日目、2日目は暑くてなかなか寝られず、朝起きるのが大変でした。夕飯の調理では、材料を入れる順番を間違えたり、ミスもありましたが、毎日3食班のみんなで頑張って作りました。夜にはテントの中でトランプをしたり、笑いながら色々な話をして、とても楽しかったです。</p>			
【団名】	橿原第8 団	【氏名】	樽井 諒士
<p>正直楽しかった事としんどかった事を比較してみるとしんどかった事のほうが記憶に残っています。ご飯がうまく炊けなかったり立ちかまどがうまく立たなかったりしましたが今ではそのことも思い出として残っているので参加して良かったと思います。班長としてはみんなちゃんと指示したことをしっかりやってくれて良かったと思います。このキャンプで楽しかったことはドローンオペレーションでドローンを飛ばしたことです。広い体育館でドローンを飛ばすのは初めてで貴重な体験でした。俺のハンモックでは時間があまりない中でハンモックを完成させることができて良かったです</p>			
【団名】	橿原第8 団	【氏名】	藤本 真秀
<p>最初は正直、参加してもつらいだけだと思っていた。いざ参加してみると、つらいこともあったが楽しいこともあった。つらいことより、楽しいことのほうが大きかった。参加してよかったと思った。</p> <p>印象に残ったカリキュラム</p> <p>○山登り→本当に正しいかわからない、整備もされていない山道を登った。途中で別の隊（わかき隊）と会い、同じ目標に向かって一致団結できた。（熊がいることはすっかり忘れていた）</p> <p>○ドローン操作→昔、ドローンを買いたいと思ったことがあったが、何時間も充電して10分しか動かないと聞いてあきらめていた。しかし、今回初めてドローンを操縦すると、操作が楽しかった。ドローンで写真を撮ることができることも初めて知った。</p>			
【団名】	橿原第8 団	【氏名】	樽井 恵吾
<p>最初はめんどくさい感じがしたけど、いざ参加してみたらしんどい事もあったけど楽しい事がたくさんあって体験できた事もたくさんあってとても楽しかったです。印象に残ったのは、ハイキングです。ハイキングでは、班の人と沢山話をして仲を深めることができました。時間はかかったけど目的地まで行くことができました。ストレッチャーレースでは、最後の最後で、順位を抜かされた事が悔しかったです。テントサイトは、地面がでこぼこで石が下にありゴツゴツして寝にくかったり、辛いこともあったけど楽しいことの方が多くて、とても楽しいキャンポリーだったなと思いました。</p>			

【団名】	樫原第8 団	【氏名】	太田 悠登、尾野 晃大、山本 理人
<p>※3人で感想を話し合ったものをまとめています。</p> <p>行く前はすごく不安だった。長いキャンプは初めてなので無理だろう思った。最初の夜の雨でテントの中が水浸しになって、気持ちが終わってしまってもう家に帰りたと思いました。でも次の日みんなでご飯を作ったり食べたりしていると少しは楽しくなってきました。ただ納豆をたくさん食べないといけない朝ごはんはいやだった。(2日に1個くらいにしてほしいです) 色んなプログラムは楽しかった、印象に残っているのは、丸太切り、ドローン体験、ハイキングなど。みんなと一緒にできたのが良かったと思うし楽しい思い出になって良かったです。</p> <p>でもやっぱり最後の方はしんどくなってしまったけど、自分では頑張ったと思いました。ボーイスカウトは体力がないとやっていけないんだと思いました。来年「もう一回やろうか?」と言われたら「イヤです!」と言うと思います。</p>			
【団名】	磯城第1 団	【氏名】	富家 悠歩
<p>プログラムは思っていたよりも楽しかったです。けれども、ごはんを毎食作るのが大変でした。帰って、母がごはんを作ってくれていたとき、IHがとても便利そうで人類の進歩を感じました。</p>			
【団名】	磯城第1 団	【氏名】	三府 源伸
<p>プログラムの中で一番ウッドジョブが印象に残っています。普段経験しない事なので楽しかったです。それと大集会での発表をみんなで考えたことが楽しかったです。</p>			
【団名】	磯城第1 団	【氏名】	谷岡 慧
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普段関わらない隊の人と喋ることが出来て楽しかった。</li> <li>・ ハイキングのときにすぐ迷ったけどすぐ切り替えて直接ゴールに向かった。お風呂が最高に気持ちよく感じた。</li> <li>・ 不便なことばかりだったけど良いリフレッシュになった。</li> <li>・ 正直最初は行く気になれないところもあったけど、行ったら吹っ切れてとても楽しかった。</li> </ul>			
【団名】	磯城第1 団	【氏名】	吉村 俐人
<p>僕が県キャンで1番印象に残ったことは三角点ハイキングです。</p> <p>なぜなら、すでに二泊していてとても疲れているのに長い時間歩くというのが嫌だったからです。</p> <p>なので疲れ切ったあとの温泉はとても気持ちよかったです。</p>			
【団名】	磯城第1 団	【氏名】	松田 光平
<p>好きなプログラムが選べるのが良かったです。特に無線が楽しかったです。</p> <p>まほろば地区のみんなと仲良くできて楽しかったです。</p>			
【団名】	磯城第1 団	【氏名】	西浦 大智
<p>普段からロープワークを練習する機会が多く、自分ではもう出来ていると思っていた結び方が幾つかありました。ですが今回の県キャンポリーでの活動で、実際にその結びをプログラムで活用するとなった時、最初は全然分からずに何度も苦戦してしまいました。そこで初めて進級の為に結びを練習するのと、実際にその結びを実用するのでは全然違う事なんだなと気付かされました。これはロープワークに限った話ではなく、他にも進級の為に取得しようとしている技能などにも言える事だとも思いました。そこで私はこれから身につけていく技能を、その場限りでなく本場に必要な場面で使えるように頑張っていこうと思いました。</p>			

【団名】	磯城第1 団	【氏名】	西浦 智輝
<p>仲間と協力し、たちかまどを作った事が印象に残っています。</p> <p>縄結びに苦戦しましたが、先輩が結び方の見本を見せてくれたので、結ぶことができました。</p> <p>自分で作った、たちかまどでごはんをつくれて、たのしかったです。</p>			
【団名】	磯城第1 団	【氏名】	木村 美紅
<p>他の団との交流でコミュニケーション能力があがったと思う。</p> <p>県キャンでしかできないことがたくさんできて楽しかった。</p>			
【団名】	磯城第1 団	【氏名】	矢野 良次郎
<p>感想:生活してるだけで疲れてしんどかったけれど最終的に終わってみれば楽しかった。</p> <p>記憶に残ったこと:竜王淵ハイクで全力で迷ったけれど少しハプニングもありつつゴールに着くことが出来た時の感動</p>			
【団名】	桜井第2 団	【氏名】	山口 雲南斗
<p>私の県キャンで思い出に残ったことはプログラムのハイキングです。自分もしんどくて長い間歩いていて疲れていたのにも関わらず班員のみんなは一切弱音も吐かずに頑張っていて歩いていたのでそれを見て自分も頑張ろうとゆう気持ちになったことがあってそれを思い出して集団行動は楽しいなって改めて感じれました。</p>			

# 第20回奈良県キャンポリー参加隊報告書

報告者：	【地区名】	葛城	1 隊	【氏名】	中田 大夢
------	-------	----	-----	------	-------

## 隊編成について

隊指導者数	【人数】		【詳細人数】	
	隊長	1 名	(全日参加： 1 名	／部分参加： 名)
	副長	6 名	(全日参加： 3 名	／部分参加：3 名)
	副長補	0 名	(全日参加： 名	／部分参加： 名)

隊指導者の役務 ※行が足りない場合は追加してください	【氏名】		【所属団】	【業務分担他】
	隊長	中田 大夢	北葛城 1	
	副長	松田 明音	北葛城 1	
	副長	山形 明日香	北葛城 1	
	副長	植村 和久	葛城 1	
	副長	小川 ちゆき	葛城 1	
	副長	杉井 源佳	北葛城 6	
	副長	南 敏雄	北葛城 6	

スカウトの団構成	団名	【人数】	【内訳】		
	北葛城 1	15 名	学年	人数	※参加隊
	葛城 1	8 名	小 6	6 名	
	北葛城 6	3 名	中 1	11 名	
		名	中 2	8 名	
		名	中 3	1 名	
		名	高 1	名	※奉仕隊 S
		名	高 2	名	
		名	高 3	名	
	【合計】	26 名	男子スカウト	16 名	
		女子スカウト	10 名		

\* 途中参加・途中退場者を含む

## 事前訓練（集会、キャンプ、指導者会議、他）について

【訓練名】	【期間】	【場所】	【訓練内容】
発隊式	6月8日	広陵町中央公民館	
訓練キャンプ	7月12日～13日	菩提キャンプ場	スカウトの親睦と野営訓練

## 隊編成の活動費について

スカウト（所属隊費）から徴収しましたか？	はい	(一人あたり)	4000円	いいえ
自治体・地区協議会より補助金がありましたか？	はい			いいえ
記念グッズを製作しました？（製作された物は？）				

## 第20回奈良県キャンポリー参加隊報告書

今回の編成隊に当たっての準備及び成果について（項目ごとに記入下さい）

### ①事前訓練について

班編成は混合編成にしたため、班内のスカウトの親睦とチームワークを高めるために実施。  
各団の都合により、菩提キャンプ場にて1泊2日しか出来なかったが、スカウトも仲良くなり、ある程度の野営レベルが確認できた。

### ②キャンポリー期間中のキャンプ生活について

隊サイトが遠く、平らなところも少なかったため、少し困難をきわめた。  
班ごとのサイト作成は困難だったため、本部エリア・テントエリア・食堂フライエリアに分け、生活を行った。どうしても指導者からの視線が遮られるものが多く、スカウトの生活にあまり目を向けることができなかった。

### ③キャンポリーのプログラムについて

スカウトたちはおおむね満足していた。  
日本一チャレンジについても良い成績を残すことができ、班同士で切磋琢磨することができた。

### ④編成隊での課題について

スカウトの中に何名か集団生活が難しいスカウトがいた。そのスカウトとコミュニケーションを取りながらの生活となったが、最終的にはそれなりに集団生活することができたと思う。

### ⑤キャンポリーを終えての成果について

スカウト同士・指導者同士の親睦だけでなく、須藤者スカウト間の団を越えたコミュニケーションが見られるようになった。団外のつながりが広がったのはよかったと感じる。

### ⑥（運営側に対して）大会についての課題、気になった点

サイト割について明確に示していただきたいとは感じた。  
派遣隊同士で譲り合いながらとなると、互いのサイト設計に支障が出たりする場面があった。

### ⑦次大会に必要と感じる点について

配給について、分量はおおむね適正であったが、レシピが欲しかった。  
電波が入らない環境でもあるので、作り方をスカウトに伝えるのも手間なので、簡単なレシピがあればスカウトたちもやりやすかったのかなと思う。

### 【所感】

初のキャンポリー隊長であったが、周りの指導者の皆様に助けていただいたおかげで何とか無事に終えることができた。隊編成についてもバランスが良く、おおむねまとまった派遣隊として活動できたと感じている。また、日本一チャレンジなどのプログラムでスカウト同士の結束や競争につながり、良い結果にもつながったので満足している。

# 第20回奈良県キャンポリー参加隊報告書

報告者：	【地区名】	葛城地区	葛城2 隊	【氏名】	吉村 嘉晃
------	-------	------	-------	------	-------

隊編成について					
隊指導者数		【人数】	【詳細人数】		
	隊長	1 名	(全日参加： 1 名 / 部分参加： 名)		
	副長	4 名	(全日参加： 1 名 / 部分参加： 3 名)		
	副長補	名	(全日参加： 名 / 部分参加： 名)		
	他	名	(全日参加： 名 / 部分参加： 名)		
隊指導者の役務 ※行が足りない場合は追加してください		【氏名】	【所属団】	【業務分担他】	
	隊長	吉村嘉晃	北葛城7 団		
	副長	當麻壮介	高田1 2 団	生活	
	副長	各務友紀	高田1 2 団	資材	
	副長	太江田真樹	高田1 2 団	配給	
	副長	松井拓道	北葛城7 団	安全	
スカウトの団構成	団名	【人数】	【内訳】		
	北葛城7 団	10 名	学年	人数	
	高田1 2 団	5 名	小6	6 名	※ 参加隊
	高田2 団	4 名	中1	9 名	
	高田7 団	2 名	中2	6 名	
	高田9 団	1 名	中3	1 名	奉 ※ 仕 V 隊 S
		名	高1	名	
		名	高2	名	
		名	高3	名	
	【合計】	22 名	男子スカウト	20 名	
			女子スカウト	2 名	

\* 途中参加・途中退場者を含む

事前訓練（集会、キャンプ、指導者会議、他）について			
【訓練名】	【期間】	【場所】	【訓練内容】
発隊式	6月8日	広陵町中央公民館	班編成等
訓練キャンプ	7月19-21日	はやまの森野営場	訓練キャンプ

隊編成の活動費について			
スカウト（所属隊費）から徴収しましたか？	<input checked="" type="radio"/> はい	(一人あたり)	4000円 いいえ
自治体・地区協議会より補助金がありましたか？	<input checked="" type="radio"/> はい		いいえ
記念グッズを製作しましたか？（製作された物は？）			なし

## 第20回奈良県キャンポリー参加隊報告書

今回の編成隊に当たっての準備及び成果について（項目ごとに記入下さい）

### ①事前訓練について

7/19-21の日程で本番と同じCサイトで訓練キャンプを実施した。ここで本番を想定したサイト設計や野外調理を行い、本番に備えることができた。

### ②キャンポリー期間中のキャンプ生活について

上記訓練キャンプの成果が発揮され、スムーズにキャンプ生活を過ごすことができた。  
また、気温など比較的過ごしやすい環境と雨の少ない天候も快適なキャンプ生活に寄与したと思われる。

### ③キャンポリーのプログラムについて

参加隊員はプログラムを楽しんでいました。良いプログラムを提供してもらいました。  
あえて意見を言うなら、旧はやま小学校への移動について何かサポートしてもらえるとありがたいです。

### ④編成隊での課題について

訓練キャンプで薪割りで大怪我が発生した。これについては安全管理をしっかりをすべきだった。  
また、救急車を手配した時に保護者との連絡に時間がかかってしまい、対応が遅れた。  
個人情報ではあるが、隊員の情報をしっかりと把握すべきだった。

### ⑤キャンポリーを終えての成果について

参加スカウトの感想の多くが「楽しかった・もっといても良かった」というものが多く、また来年のジャンポリーに行きたいという声もあり、成果としては充分以上だったと思う。

### ⑥（運営側に対して）大会についての課題、気になった点

⑤にて、充分以上の成果が出たとしたが、Cサイトでキャンプができたことに依るところが大きいと思われる。  
前回の19NCではDサイトオクタゴン上の斜面が割り当てサイトだったが、サイト環境が劣悪で参加スカウトの感想は悪いものが大半だった。今でも「最悪だった」とか当時のスカウトに言われる。  
これを鑑みるとスカウト200人規模のキャンポリーに、はやまの森はキャパオーバーなのでは？という疑念がどうしても出てしまう。

### ⑦次大会に必要と感じる点について

⑥に記載しましたが、割り当てサイトによって当たりはずれが大きいのでは？という思いがあり、開催場所をはやまの森以外にすることも検討に入れるべきだと思います。

### 【所感】

訓練キャンプで大怪我が出てしまったこと、初日、2日目で体調不良者が出たことでキャンポリー前半は隊運営に不安を感じていたが、3日目で降体調不良者が出ず、スカウト達が楽しそうにキャンプをしている姿を見れたことで葛城2隊のキャンポリーは大成功を収めることができたと思います。

## 第20回奈良県キャンポリー参加隊報告書（スカウト達の感想）

大会を通じて、思い出に残った事（プログラム、サイト内での生活、他の隊との交流など）や、成長したと思う点、今後に向けた意気込みなど。 ※行数が足りない場合は行を追加してください。

【団名】	北葛城7 団	【氏名】	奥本信一郎
いつもよりキャンプしている時間が長かったので、最初ははよ帰りたいと思っていたけど、最後らへんになると楽しくなって帰りたくないと思った			
【団名】	北葛城7 団	【氏名】	上ミ地汰空
初日は、人が多すぎて圧倒されてホームシックになって、悲しかったけど、周りの状況が見えてきて、他の団との交流もできて、この5日間で精神面が強くなれた。また、地図の読み方がより読めるようになった。			
【団名】	北葛城7 団	【氏名】	廣瀬智樹
初めて4泊5日のキャンプが楽しみだったけど、思ったより大変で疲れました。でもおいしいご飯、や楽しいゲームなどができて面白かったです。来年のジャンボリーに行けるように頑張ろうと思いました。			
【団名】	北葛城7 団	【氏名】	増田有亮
初めはすることが遅くて時間に間に合わないことも多く、疲れてしんどくなっていた。けれども、日が経つにつれ、みんなも慣れてきて、だいぶと行動が早くなってきた。そのおかげで時間にも余裕ができ、楽しく充実して過ごせた。			
【団名】	北葛城7 団	【氏名】	松本陽一郎
5日間の外出自体が初めてで、心配もありましたがとても楽しく良い経験になりました。			
【団名】	北葛城7 団	【氏名】	清水直人
私は、このキャンポリーで多くのことが思い出に残りました。一つはバリスタです。なぜなら私の作った球は、飛んでいる時とちゅうで方向が変わるのでキャッチするのが難かしかったです。そして、陽一郎君の球は、当たったらとても良かったです。最後はスタンプです。私はまだあのナンパ劇をしたのかわからないし、練習のときははずかしかったが本番では、しっかりとできたので良かったです。			
【団名】	北葛城7 団	【氏名】	山田真士
疲れたけどなんやかんや楽しかったです。また行きたくはないです。普通に隊キャンしたいです結構イライラしました			
【団名】	北葛城7 団	【氏名】	小切間斗真
僕は5日間のキャンポリーで思ったことは大変で疲れると思っていたけど2日目から本格的にプログラムに入って楽しかったから次も出たいです。			

【団名】	北葛城7 団	【氏名】	山村玲陽
初めての4泊5日という長いキャンプで不安がありました。また実際苦労も沢山ありましたが、仲間達と過ごせて絆も深まったし、とても楽しかったです。			
【団名】	北葛城7 団	【氏名】	夏山神維
体調不良によって、一日だけしか行けなかったのがとても悲しかったですが、面白い体験ができてとても楽しかったです。家でもやってみたい知恵がふえたので行ってよかったと思いました。4年後また行けたら行きたいです			
【団名】	大和高田第12 団	【氏名】	吉村 斗我
僕はキャンポリーに参加して、最初はとても不安だったけれど、参加してみると案外すべてのことがスムーズにいき、優秀班の何回も選ばれ、とてもうまくいきました。火も起こせ、誰かが欠けても誰かが助けたり、いろいろなことが成長したキャンプだと思いました。4泊5日は大変だったけれど、それよりも楽しいが勝って、身体も慣れてとても楽しかったキャンプでした。			
【団名】	大和高田第12 団	【氏名】	入江 泰成
第20回奈良県キャンポリーに参加して、疲れましたが楽しかったです。4泊5日は初めてだったので心配な部分もありましたが、楽しめました。私が参加したプログラムの中で、一番楽しかったのは「ドキドキモンキー」です。ほかの班の人と協力して、初めてモンキーブリッジを作りました。登ってみると、揺れて少し怖かったですが、とても楽しかったです。他にも色々なプログラムに参加し、生活面もゆとりをもって行動できて楽しかったです。			
【団名】	大和高田第12 団	【氏名】	中島 綺月
僕は4泊5日のキャンポリーに参加しました。1日目は設営を行い開会式に参加しました。テントを協力して立てて手伝いもできました。2日目は点検を受けて優秀班に選ばれました。また、プログラムでは「ドキドキモンキー」や「無線でスパイ」に参加してとても楽しかったです。3日目は「投石機で水玉キャッチ」と「ドローンオペレーション」に参加しました。すごく楽しかったです。4日目はハンモックを作りました。大集会も楽しかったです。5日間最高でした。			
【団名】	大和高田第12 団	【氏名】	中川 寧々
先日、4泊5日の奈良県キャンポリーに参加しました。テント設営やモンキーブリッジ製作、火起こし競走など、たくさんの活動を経験しました。中でも一番楽しかったのは、初めて会う他の隊の人たちと仲良くなれたことです。一緒にゲームをしたり、話したりするうちに、すぐに打ち解けることができました。このキャンポリーを通して、新しいスキルを身につけ、仲間との絆も深めることができました。この貴重な経験を、今後の活動に活かしたいです。			
【団名】	大和高田第12 団	【氏名】	松谷 聖愛
私は第20回奈良県キャンポリーに参加しました。様々なプログラムに挑戦し、日本1チャレンジでは仲間と力を合わせ全力で頑張りました。私たちの班は行動が速く団結力もあり、優秀班賞を多く取ることができました。それに4泊5日間一緒に過ごす中で中も深まり、班に馴染めてきたと思います。今回のキャンプで教えてもらった事などを今後の活動に活かしたいです。			
【団名】	大和高田第2 団	【氏名】	和佐 琉希
他の隊や団の人と交流ができて楽しかったです、特に選択プログラムの投石機で水玉キャッチが面白かったです。			
【団名】	大和高田第2 団	【氏名】	和田 悠士朗
色々な団の人とも交流できて、よかったです。雨が降って大変だったけどとてもいい経験に生かしたと思います。			

【団名】	大和高田第2団	【氏名】	岸田 泰知
<p>この大会で良かったなと思ったことは、いろんな隊の人と関わり、友達になったことです。個性豊かな人がいっぱいいて、とても楽しくて面白かったです。またスキルチャンピオンシップの時に会えると思うので、時間があったら話しかけてみようと思います。</p>			
【団名】	大和高田第2団	【氏名】	幾川 懸
<p>キャンポリーに行って良かったと思いました。キャンポリーでは料理や縄結びなどのスキルを上げることができたからです。また、他のボーイスカウトたちとコミュニケーションを取ることで、コミュニケーション力も上げることも出来ました。来年の日本ジャンボリーでも、もっとスキルを上げたいです。</p>			

# 第20回奈良県キャンポリー参加隊報告書

報告者：	【地区名】	V S 奉仕隊	隊	【氏名】	西村雅博
------	-------	---------	---	------	------

隊編成について					
隊指導者数		【人数】	【詳細人数】		
	隊長	1 名	(全日参加： 1 名	/部分参加： 名)	
	副長	3 名	(全日参加： 3 名	/部分参加： 名)	
	副長補	名	(全日参加： 名	/部分参加： 名)	
	他	名	(全日参加： 名	/部分参加： 名)	
隊指導者の役務 ※行が足りない場合は追加してください		【氏名】	【所属団】	【業務分担他】	
	隊長	西村	高田5	隊運営・役務分担・サイト設計	
	副長	櫻井	五條3	奉仕プログラム担当	
	副長	當麻	高田5	サイト運営・生活支援	
	副長	野元	北1	生活・安全担当・会計	
	副長				
	副長				
スカウトの団構成	団名	【人数】	【内訳】		
	北7	4 名	学年	人数	※参加隊
	高2	3 名	小6	名	
	奈良18	4 名	中1	名	
	生駒2	8 名	中2	名	
	生駒5	1 名	中3	名	
	郡山1	1 名	高1	10 名	
	桜井2	4 名	高2	12 名	
	奈良15	3 名	高3	6 名	
	【合計】	28 名	男子スカウト	24 名	
		女子スカウト	4 名		

\* 途中参加・途中退場者を含む

事前訓練（集会、キャンプ、指導者会議、他）について			
【訓練名】	【期間】	【場所】	【訓練内容】
指導者会議	7月19日	はやまの森	サイト下見と運営について
事前集会	7月26日	王寺やわらぎ会館	顔合わせ・プログラム説明
隊編成の活動費について			
スカウト（所属隊費）から徴収しましたか？	はい	(一人あたり)	3000円 いいえ
自治体・地区協議会より補助金がありましたか？	はい		いいえ
記念グッズを製作しました？（製作された物は？）	ありません		

## 第20回奈良県キャンポリー参加隊報告書

今回の編成隊に当たっての準備及び成果について（項目ごとに記入下さい）

### ①事前訓練について

参加者の集約に時間がかかり1か月前の1回しか招集することができなかった。  
原隊の予定や学校などの理由で、事前集会の参加者が10名ほどしかおらず不安感が募る  
不参加スカウトの代わりに隊指導者が参加してくれた為、問題はなく終了

### ②キャンポリー期間中のキャンプ生活について

サイトは、Eを利用 事前に下見をするが個人テントを約30張るスペース・食堂スペースでいっ  
ぱいで判断 隊本部・指導者用は、サイト外に構築（後に他人の所有地であることが判明）  
食事はセントラル方式をとり4班にわけて担当させたが、スキルのあるスカウトに頼ってしまう  
一面があったが、概ね問題なくサイト構築・運営ができたと思います。

### ③キャンポリーのプログラムについて

プログラムの事前資料配布があり、奉仕するスカウトへの案内は問題ありませんでした。  
奉仕とは言え必要なスキルを持ち合わせてはおらず、奉仕者としての勤めができたか心配です

### ④編成隊での課題について

奉仕隊の参加については、申し込み書類を集約するしか手段がなく 隊長・スカウトとも全く  
面識がない状況。隊指導者にもしっかり介入してもらう必要があると思います。  
事前集会では、連絡が行き届いておらず 実施を知らなかったスカウトも存在しました  
もちろん、隊長を仰せつかった私自身の力量不足が一番の問題ではありますが…

### ⑤キャンポリーを終えての成果について

参加してくれたスカウトたちは、原隊を越えた交流ができスカウト活動への活力が高められた  
と思われま。日本ジャンポリーと一緒に参加しようと声を掛け合っているスカウトも  
見受けられました。

### ⑥（運営側に対して）大会についての課題、気になった点

それぞれの持ち場の方が、よく考えていただいた為 特段気になった点はありません。

### ⑦次大会に必要と感じる点について

V S 奉仕隊への依頼は、大会当日・前日にされるのではなく、各部署に前もって関わることで  
さらにスカウトの責任感を高めることができるのではないかと思います。

### 【所感】

20NCのV S 奉仕隊としての役割は、果たせたかと感じています。  
しかし、県内V S の交流が少なかったことで打ち解けるまでに時間がかかりました  
スカウト自身が奉仕隊の役割や大会の理解を事前に深めることができるのなら、もっと  
積極的に大会へかかわることができ、達成感を得ることができたのではないかと感じました。

## ■キャンポリーの活動風景■



## ■ キャンポリーの活動風景 ■



## 「第20回奈良県キャンポリーを終えて」

### ～仲間と歩むから、遠くへ行ける～

奈良県連盟 県コミッショナー

黒田 達也

第20回奈良県キャンポリーにおいては、期間を通してたくさんのスカウトが仲間と共に野営生活に挑んだ姿を目の当たりにし、県コミッショナーとして大きな喜びと誇りを感じました。厳しい暑さの中でも、テント設営や野営炊事、様々なプログラムへの主体的な参加を通して、楽しそうに生き生きとした笑顔も垣間見ることが出来ました。自然の中での経験は、楽しい事だけではなく失敗や思うようにいかない事など・・・様々な事があったと思いますが、そうした壁に向き合い仲間と励まし合いながら乗り越えた経験こそ、今後のスカウティングにおいて素晴らしい財産になるでしょう。



また、キャンポリーを支えて頂いた隊指導者・スタッフの皆様の献身に心から敬意を表します。「一人で行けば速い。しかし共に行けば遠くまで行ける」という言葉がありますが、同じ志を持った皆様が力を合わせ、準備・運営・安全管理にご尽力頂いたからこそ、期間中は大きなケガや事故なくスカウトは安心して挑戦し、学び、成長する時間を得ることが出来ました。そして、我々大人もこれからの奈良県連盟の未来に繋がる良い経験を得たのだと思います。

スカウトの皆さんは、今回の経験を糧に隊や班の活動を更に活性化させて欲しいと思います。そして、私たち大人も共に学び続け、奈良県連盟全体でより良いスカウティングを創っていきたいと思います。これからも皆で力を合わせ、スカウティングの精神を未来へ繋いでいきましょう。

参考資料：

- VS 奉仕隊インスタグラム [Instagram](#)
- [第20回奈良県キャンポリー - Google フォト](#)

編集後記：

あの夏、はやまの森で過ごしたあの時間。

私たちが感じた、あの景色・あの声・あの匂い・・・。

仲間との大切な時間、同じ瞬間は来ないけど、同じ仲間と再び友情を育むことはできる。

キャンポリーに感謝！はやまの森に感謝！仲間感謝！

大きな事故なく、大会を終えることができました。

皆さん、本当にありがとうございました！

第20回奈良県キャンポリー実行委員長

木下 睦啓



文責：日本ボーイスカウト奈良県連盟

第20回奈良県キャンポリー実行委員会